宇津保物語

十

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

830
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

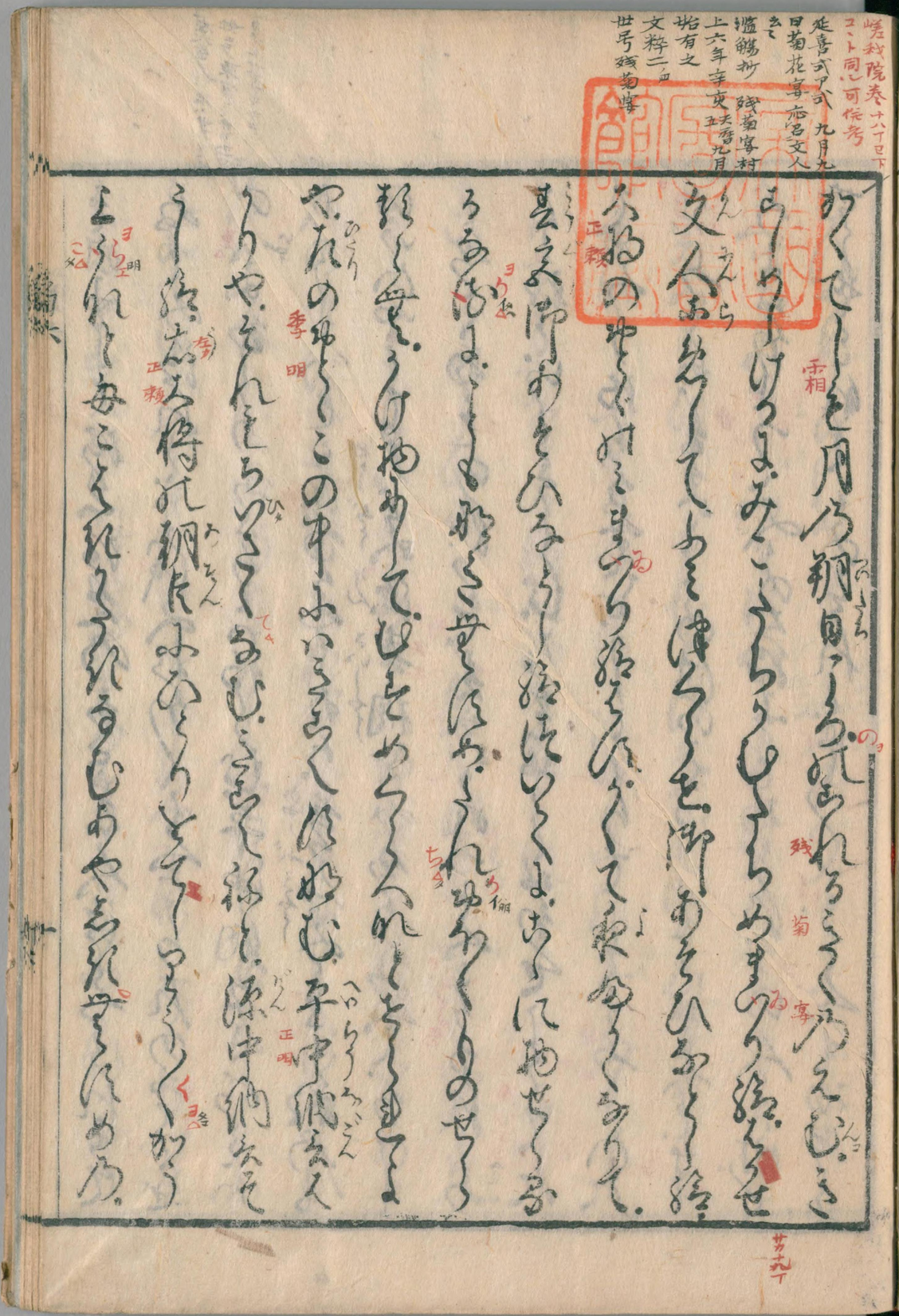
ガラス使用

菊の宴 上

今月白本日九上
紺本五冊

巻十

大正
4. 7. 20
購求



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

左大臣ノ姫君ハ世ノ人ノ
妻ニ東宮ニ参リ給ヘ
リイトカタケキヨシアリ

それ中ごろ左大臣のもとにまいりたまへるを
ぬしみ給れど、なほ心ばへ、ことなるにたんの中将を
のみ思ひきこえたまへり。中納言さきのかみは
あらしどもとこそ思ひやつれ、ものみそなはれども
のいやしくて、去文源宰相とみな
思ひくらべたまへる。去文ぞ、いとうるはしう
うつくしうしたまへる。たまへりてこそ
てうつりたまへる。ことさらに
うつくしうもあるかな。去文ぞ、ことのほかにくはしく
ものよりしつ。えもいはぬ人の
せうとにこれしこそ、ものきこえ
見捨
今日
寂々
動
脚病
人のほどもつれなくもあるかな。世ひ
ばりつるこそ、物語にうつくしうつ
きなしびとのほどとしめやかに
くえさらでぬれば、ものうしめやかに

ゆらぬといそうけ給りうそ
えにくゝゐれとそうとうしつを
ゝまるとうじ給ゝくゝ
ゝりゝ代やをまれゝ
るゝとうじゝ
ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

古秋上 よろづよ
たの川ゐ
ゑ
ゑ
ゑ
ゑ

あやしくるやうやうしくのこと
ばをつきてく
ゐうくつゐ
ゐやゐをとうとう
ゐはゐわをうとう
ゐ
ゐ
ゐ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

つゝみをとりつゝ
これをとれとは中ねりこそれを
ぬらてこそそめらるをとてもあて
いそとい文ゆりひ給へとこれをぬいとこれや
をこうとれをいとよ中ねりのみれのこ
くねらをすやとれをこうくてたねる
人をとれをとれ君乃はを十はれ笑つまりたま
をひれひやをかをうをそうつをいて
うをもをはやみれかしくてゆくにて
え給へせ乃ゑそれうをちにをいめしうをの
よ文のうをんゆをゆをの給る

藥 杵 実 桃

給へいてをうをくして、まりはゆ
をを事ふをそはを給へをををそをいたをを給をれ
おはまをををみはうをまり給へうをある
へうをを事をせを給へ文ををれをを
給をひをうをれををををうををを
こうをのやををはををををををを
ををををををををを

正頼 足 手 手 手 切 哭 師仏 茎

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

此本脱字アヘリ

をのこさまもあるじ、ものしてよばうして、人
れをみたのうらふめ、いまて、年ばかりまとお
ものまとぬ、こちの地ものしたをねよ
とすることを、あるをさいのくるひやとを
くめんとてるひ、せうそこもめ、ばかりが将
なるもりられてさうもうおまへらひ殿
のひんまうるを思ひ、まのうるれんるを
うのまうり、ゆきうきあるゆきかくみ、ふんん
林やしうてもこうぐいこれとこの色して
こまよるをとて、すめやうにおてにもめ、ばかりを
ゆをのさいのうめらのめんにやしうばかりある

とえうけのうりすうんやうるをいかあこえ
ばうらにゆまひつうまうをひとうのまるを人
れるせうていうんをうれんゆまるをいかゆ
しうそうれうものせよるをが将久義のるをみを
ひてうこにつうゆうぬうれるだのばううは
らひうをゆをひうさばけたまるをみうこ
そい人ばうゆうぬみうれくつうまるを
しうゆをのたりれるつうまるをゆ
ゆうさばさまたるし事ばけたうみうれ
もれをうめまをそうのお将のばふうをゆ
ゆまをえばうさといお将らくうをむひをうへけうらい

古手 御貢子 中報 寅 神泉 吹上 散更 陵王 行正 楽名 中報 若稼

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107

ガラス使用

わくらはぬしこそをろかなれ
そうりがくてゐるを給くゑよ世の人
やしくはをの事ゝれ給ものゝ
給へ給へひろうてひさしくゑゆるつこ
とさつのらもれくひろれてゝはくけ
まうてゝはくれまくさひうとこれくう
はうほとゝはくとゝ給をえうゐあくをを
さいの文こてゐいくこれもはくうけくとゝの
給ちゐをくたひをけをれくうをゝ給む
みくはくさまゐくてよれ給ゐ不ちくいれ
てくくゐあくれくやくはまゐ

風賀 左大将伊忠

ゐ給はくはのをくをくはのくゐはゐくゐ
二月人のゐよくれをのあるゐいはうゐくゐ
風賀
うゐゐひくくをくゐくれ給はゐ幾ゐ
三月くくくくくくくはくはくくあり
源中将
くくくくくくく

日本古典文学叢書 作者版センター

正月ことはじめのうたよみ人しらず

頼中将のうた

年ふるさくら花ゆきかとみるまでに春の山べの雪のあけぼの

二月人の家よりたちかへりて

中将すけもと

我宿はいとゆかしきかほりかな春の里にてつかうまつれる

三月人の家よりまゐりて

あ仙

池のうへのみぎはのかきつばたはなのいろにもかへられぬる

四月

みねやきまさ

七月たなばたのうた

京太夫

ひこぼしはいくよのあれはけさこそはあふてはなれぬるかな

八月十五夜のうた

七部

秋の夜の月をあかしてあかしつるかな

九月

中将さねもと

実頼

十月

左大弁

忠純

十一月

師純

東宮の君

十二月 仲冬

中将みくしげ殿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かゝ人あるひとの人まねる人のまことまてまつりいくぬ人ちろ
ひこうのうかのの籠はかりつかまつりこのほく
つまうさうとおもうのたうまはまうまみて
いまくりてつくれくさつりはかうまいむ
の春ゆけはとまつうまくあ
風賀さまの内々のこと
おのれまうしよりひとくれあ毎月の
秋の日の雲あうのけうりうくるく御月詣
まれまうはかうとうのとをみうちうと
まうくくをあうしまれしの
まうの御ふはりはまうまうまうはは
るとはれしうまうまうみうとはうまう

明本くいまのうちうそをするくくのさえのさうまうて人のうちちさへをうれてはのれうりイトヨシ

て　まうはうはうくくてくくうはてはてみうち
まものつうまのまるはたはるのくうやあうくく
をまをまはまうもはうちはうくくはうくくはは
うはうはくはうははは

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』　請求記号 830-107
ガラス使用

類聚雜要云
未額髮二流簪
釵子彫櫛二枚
本結

白入内ノヨリ給サミテゲテト烏帽子ヤ

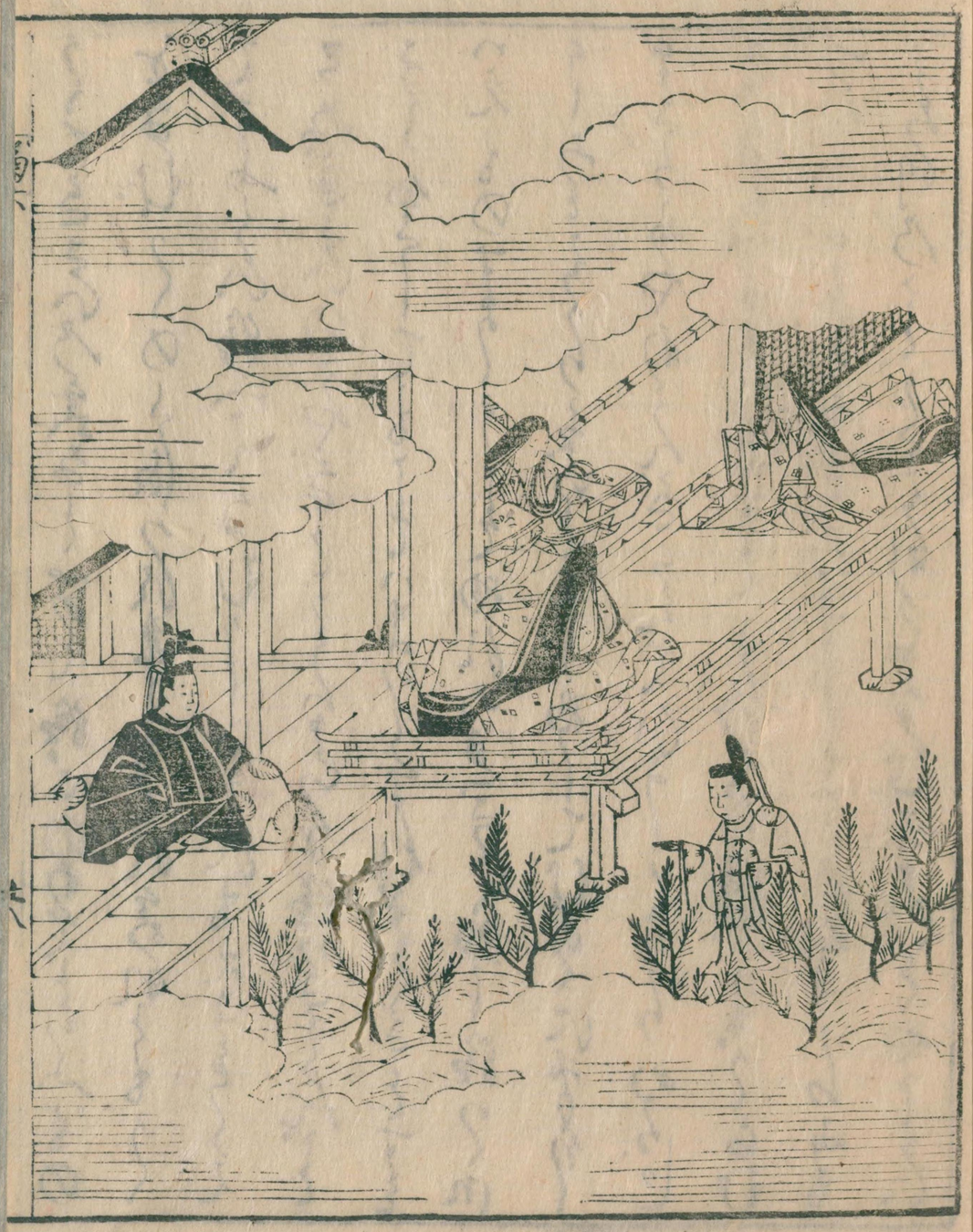
[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

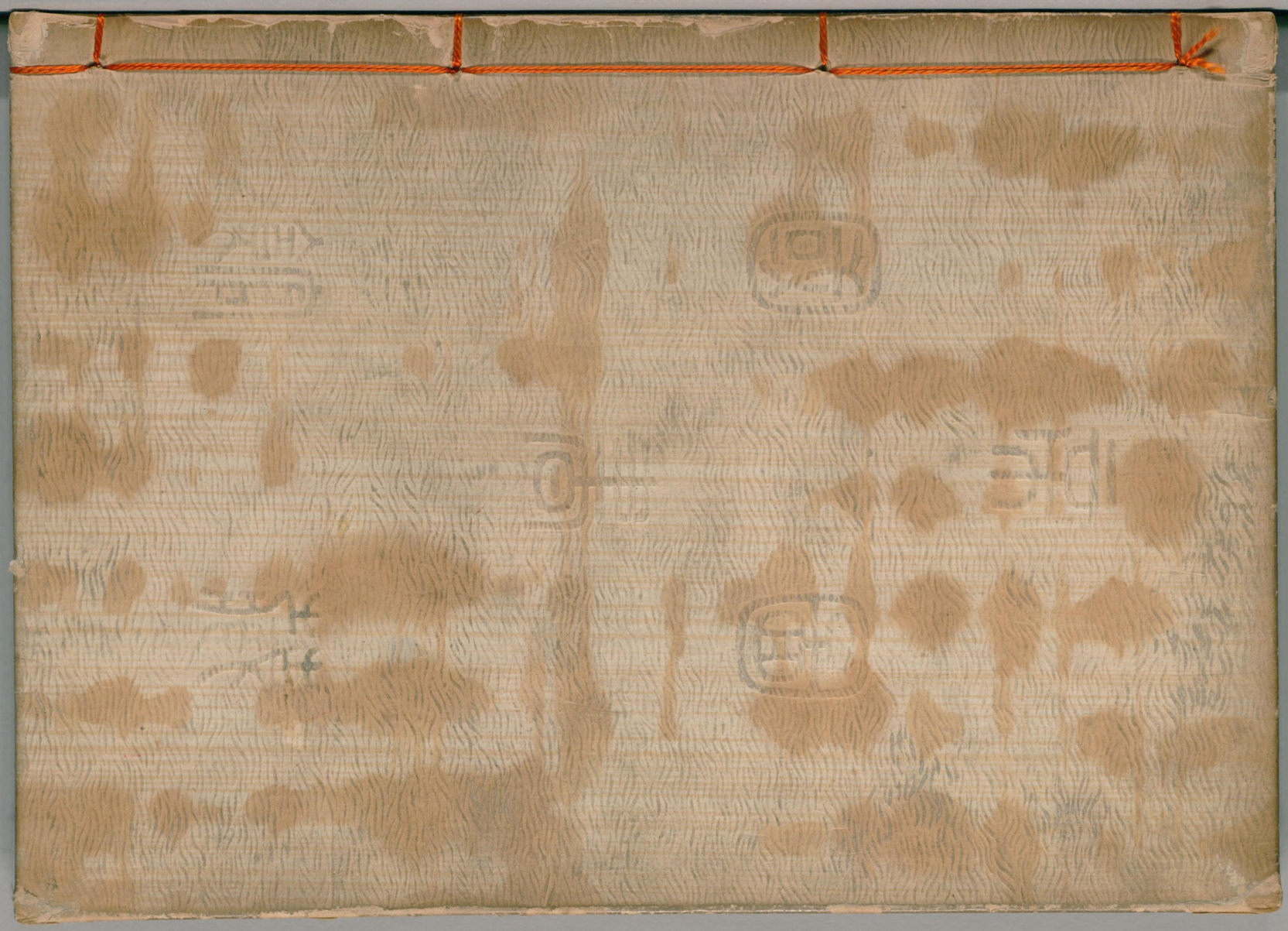
830
107

うてさきの乃ゑをしやめし給ふこのあそびとらふものを
をるむ(ん)くのこゝ毎ゐ(ゑ)まで(ゑ)ゐ(ゑ)ゐこれ(ゑ)るれともく
てさきゝひ給へこゝをむしこ(ゑ)すにもえさきゝゑ
さゝのこゝやまとゝゝゝゝゝゝ給ふこゝんと
さゝゝゝてもそいまゝゝゝゝゝゝ

830
30
107

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語 30巻』 請求記号 830-107

ガラス使用